

**第 7 回 量子戦略見直し検討WGの議論の狙いや論点等について（案）**

令和 4 年 1 月 26 日

**< 本日の議論の狙い >**

国際連携（国際連携担う拠点の機能強化、国際共同研究、人材交流等）、産学官連携（各拠点の機能強化、Q-STAR との連携等）、知財・標準化（知財・標準化の現状や課題、官民の体制の在り方等）を進めていくための課題や方策について議論。

**< 論点（例） >****1. 国際連携の強化・充実**

- (ア) 国際連携の現状や課題は？（国際連携のハブとなる量子拠点の活動状況や今後の課題、産業界の間での国際連携、国際共同研究、人材交流等の現状や課題等）
- (イ) 国際連携の強化・充実を図るための仕組み・体制・政府支援・研究開発の在り方（あるべき政策・施策、世界トップ研究者と接続するための拠点の在り方、Q-STAR 等の産業界の間での国際連携の在り方、国際共同研究、人材交流等の活性化等）

**2. 産学官連携の促進**

- (ア) 産学官連携の現状や課題は？（産学官の人材交流、共同・受託研究、技術移転等の現状や課題、産学連携による人材育成／寄付講座、量子拠点と産業界との連携の状況や課題、等）
- (イ) 産学官連携を促進するための仕組み・体制・政府支援・研究開発の在り方（あるべき政策・施策、産業界のニーズを踏まえた各拠点の充実・強化（産学官連携を担う人材等）、Q-STAR 等の産業団体や企業と拠点との連携の在り方、産学連携による人材育成、共同研究活性化等）

**3. 知財・標準化の推進**

- (ア) 知財化・標準化についての現状や今後の課題は？（知財取得の状況／国際比較や課題、標準化活動の現状や課題等）
- (イ) 知財・標準化を推進するための仕組み・体制・政府支援・研究開発の在り方（あるべき政策・施策、知財・標準化を戦略的に進めるための仕組みや取組、各拠点や Q-STAR 等の産業界の活動の方向性、国際的なルール作りを主導するための官民の体制や仕組み等）